

以下の資料は施設 A における運用マニュアル（感染対策室と協議したもの）である。各施設での運用に際しては感染対策室の指導の下、適時マニュアルを作成し検査にあたること。

問い合わせ：office@jert.info

COVID-19 感染患者（疑い患者含む）の CT 撮影についての施設運用

対象患者：COVID-19 感染患者および疑い患者（主に独歩可能患者）

装置 CT 装置 3 台（救命センター 1 台）のうち主に単純検査で用いている CT 装置を利用

検査時間帯：日勤帯の撮影では検査が落ち着く夕方を基本とする。

検査に係る人員（夜勤帯も）：事務員数名，医師 1 人，看護師 1 人，診療放射線技師 2 人

事務員：検査室への搬送経路の整備と各部署への連絡

医師及び看護師：患者搬送

診療放射線技師

A 操作室担当

B 検査室内担当

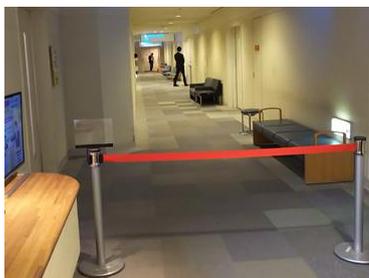
搬送経路

搬送経路は固定

外来患者との接触を避けるため，通行制限をかける

患者は基本的に“うつさんぞマスク”を装着

<https://www.koken-ltd.co.jp/hiluck/infection.html>



診療放射線技師

○検査前

- ・ COVID-19 感染患者（疑い患者含む）の撮影に際し，事前にブリーフィングし検査時間や人員配置を調整

- ・ 撮影の準備

CT 室内で撮影する一般撮影装置の準備（FPD 使用）

感染対策：機器のシールドと個人防御

参考

https://jcr.or.jp/wp-content/uploads/2020/03/20200324_2 類感染症を想定した CT 撮像時の感染対策の一例（COVID-19 を含む）.pdf

COVID-19 感染者における感染対策

CT 検査室用

診療放射線技師 A : RIS オーダー受付, 一般撮影画像確認, CT 撮影

診療放射線技師 B : CT 室内患者対応

1. 室内・装置の感染対策

- ① 移動型 X 線装置を配置 (感染対策特になし)
- ② 簡易立位リーダ: ビニールの包装はしない
- ③ FPD: グリッド装着後ビニール袋にて 2 重に包装
- ④ CT 室内, 更衣スペースのカーテンを束ね隅に寄せる
- ⑤ ゴミ入れ用のビニール袋は配置しない
(ゴミは全てごみ箱 (感染性産業廃棄物) に廃棄)
- ⑥ ガントリ部寝台操作ボタンにビニールシートを被覆
- ⑦ 着衣保管用籠にビニール配置 (患者持ち物着衣を入れるため)
- ⑧ CT 寝台: ディスポシートの配置
- ⑨ アルコール容器 2 個 A&B を配置 (棚には極力物を置かない)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

2. 個人防衛

診療放射線技師 A：スタンダードプリコーション

診療放射線技師 B：COVID-19 対応（以下）

○着衣手順

- (1) 手指消毒
- (2) 長袖エプロン着用
- (3) N95 マスク装着
- (4) キャップ（髪をすべて入れ，耳を覆う）
- (5) アイシールド装着
- (6) シューズカバー
- (7) 手指消毒

着用していたマスクは

保管し再利用する

- (8) 一枚目の手袋（手袋がガウンの下になるように）
- (9) 手指消毒
- (10) ブルーガウンの袖部分に穴を開け親指を通す
- (11) 二枚目の手袋
- (12) 手指消毒



*脱衣が終了するまで手でマスクや顔を触らない事

3. 患者入室

ポジショニングは口頭指示として、基本的に患者には触れない
着衣はボタンや下着等の金具がついていても基本的に脱衣しない

ただし医師に確認すること

- (1) 一般撮影ポジショニング (患者に触れた場合には下記 A へ)
- (2) 撮影
- (3) 診療放射線技師 A がポータブル用コンソールで画像確認
- (4) CT 検査ポジショニング (患者に触れた場合には下記 A へ)



患者固定が必要な時には、患者の上にビニールを置き、その上から固定バンドを巻く

- (5) ガントリ部操作ボタンで位置決め撮影開始位置へ
- (6) CT 室より廊下へ移動 (エプロンなどが壁等に接触しない事)
- (7) 撮影後入室
- (8) 患者退室

A: 患者に触れた時 (次の動作に行かず必ず手袋交換&手指消毒)

- ① 二枚目の手袋を A のアルコール で手指消毒
- ② 二枚目の手袋を脱衣
- ③ B のアルコール で手指消毒
- ④ 新しい二枚目の手袋を着用



②



①

4. 患者退室後清掃①

診療放射線技師 B

- ① FPD に触れないように診療放射線技師 A に FPD を取ってもらう（診療放射線技師 A は FPD をルビスタで清掃⇒手袋交換&手指消毒）



- ② CT ガントリ部ビニールシート，寝台のディスポシート，簡易立位リーダのビニール，着衣保管用籠のビニール袋を配置したごみ箱（感染性産業廃棄物）に入れる



- ③ 脱衣へ

5. 脱衣 (CT 室内) とスタンダードプリコーション (操作室)

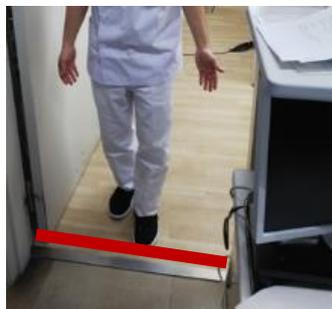
診療放射線技師 B

CT 室内で脱衣

*脱衣が終了するまで髪や顔に手を触れない

*脱衣するものはすべてごみ箱 (感染性産業廃棄物) に入れる

- (1) **A のアルコール**で手指消毒
- (2) 二枚目の手袋を表裏逆になるように外す
- (3) **B のアルコール**で手指消毒
- (4) 長袖エプロン脱衣 一枚目の手袋内に入れるように手袋も外す
*長袖エプロンは静かにゆっくりと、白衣につかないように中表になるように外す
- (5) **B のアルコール**で手指消毒
- (6) シューズカバー脱衣
- (7) **B のアルコール**で手指消毒
- (8) キャップ (髪に触れないように外す)
- (9) **B のアルコール**で手指消毒
- (10) アイシールド (目を閉じながら、前面になるべく触れないように外す)
- (11) **B のアルコール**で手指消毒
- (12) N95 マスク (目を閉じながら、下のゴム⇒上のゴムの順でゴムを顔の前に持っていく)
- (13) **B のアルコール**で手指消毒
- (14) 操作室に移動



CT 操作室にて 診療放射線技師 A&B

簡易エプロン

手袋

サージカルマスク

アイシールド

帽子

(スタンダードプリコーションで OK)

6. CT室内清掃②

診療放射線技師 A, B

ルビスタにて・・・

○簡易立位リーダ（特に顎載せ部）、CT寝台・ガントリ、ポータブル装置等の使用機器、ドアノブ、A&Bのアルコール容器等を清拭する

清拭後ごみ箱（感染性産業廃棄物）に廃棄

*次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させるため、次亜塩素酸ナトリウム使用後（約5分後）水拭きをすることが望ましい ただしルビスタ使用時には水拭きは不要



7. 脱衣（CT室内）

診療放射線技師 A, B

- ① 簡易エプロン、手袋等をごみ箱（感染性産業廃棄物）に廃棄
- ② 手指消毒
- ③ CT室外へ

8. CT室の喚起

- ・患者が“うつさんぞマスク”を装着している場合には基本的に喚起不要
- ・上記以外の場合には約30分ほど喚起する